

《申告書類の書き方》

①償却資産申告書（償却資産課税台帳）（緑色）

- (1) 「1 住所～18 備考（添付書類等）」までを記入のうえ、申告してください。
住所・氏名・取得価額等に修正がある場合は、正しく記入してください。
- (2) 増減や修正が無い場合は、「18 備考（添付書類等）」欄、「2. 資産増減なし」を○で囲んでください。
- (3) 該当する資産のない場合は、「18 備考（添付書類等）」欄、「3. 該当資産なし」を○で囲んでください。
廃業・解散・事業所等を市外へ移転された場合などは「4. その他」を○で囲み、詳細を記入してください。

記入例

令和7年度 償却資産申告書（償却資産課税台帳）

令和7年1月8日
燕市長様

マイナンバーまたは法人番号の記載が必要です。
11111111111111111111

所有者コード
00000000001

1 住所 (ふりがな) 959-0295 にいがたけんつばめしよだしにおた 新潟県燕市吉田西太田1934番地 又は納税通知書送達先 0256 (92局1111番)	3 個人番号又は法人番号 11111111111111111111	8 短縮耐用年数の承認 有・ <input checked="" type="radio"/>
2 氏名 (ふりがな) つばめせいさくしよ 株式会社 燕製作所様 法人にあつてはその名称及び代表者の氏名 代表取締役 白山太郎 (屋号)	4 事業種目 (資本等の金額) 金属洋食器製造 (10 百万円) 事業開始年月 昭和 48 年 6 月 この申告に回答する者の氏及び氏名 〇〇係 甲野 太郎 0256 (92局1111番) 税理士等の氏名 乙原 次郎 0256 (〇〇局〇〇番)	9 増加償却の届出 有・ <input checked="" type="radio"/>
		10 非課税該当資産 有・ <input checked="" type="radio"/>
		11 課税標準の特例 有・ <input checked="" type="radio"/>
		12 特別償却又は圧縮償却 有・ <input checked="" type="radio"/>
		13 税務会計上の償却方法 標準法・定額法 標準法・ <input checked="" type="radio"/>
		14 青色申告 <input checked="" type="radio"/> 有

資産の種類	取得価額			償却額			計			
	前年前に取得したもの (イ)	前年中に減少したもの (ロ)	前年中に取得したもの (ハ)	前年前に取得したもの (イ)	前年中に減少したもの (ロ)	前年中に取得したもの (ハ)	(イ)-(ロ)+(ハ) (ニ)	前年前に取得したもの (イ)	前年中に減少したもの (ロ)	前年中に取得したもの (ハ)
1 構築物	2,083,600						2,083,600			
2 機械及び器具	6,850,000	600,000					6,250,000			
3 船										
4 航空機										
5 車両及び運搬具	510,000					232,780	742,780			
6 工具、器具及び備品	124,000	24,000				310,000	410,000			
7 合計	9,567,600	624,000				542,780	9,486,380			

15 市(区)町村内における事業所等資産の所在地
 ① 燕市吉田西太田1934番地
 ② 燕市水道町6丁目6-6
 市内における事業所等資産の所在地を記入してください。2ヶ所以上ある場合は、主たる番号を○で囲んでください。

16 借用資産 (有・無) (有・無)	貸主の名称等 燕市リース株
17 事業所用家屋の所有区分 自己所有・借家 (有・無) 自己所有・借家	
18 備考(添付書類等) ※該当する項目に○をつけてください。 ① 資産増減あり 2. 資産増減なし 3. 該当資産なし 4. その他(詳細を記入ください) : ※ 登録されている資産内容に変更がある場合は「1」、変更がない場合は「2」、該当する資産がない場合は「3」に○をつけてください。 ※ 住所移転、廃業、その他の異動については「4」に○をつけ、詳細を記入してください。	

※市で計算しますので、記入する必要はありません。ただし、自社の電算処理により全資産申告をされる方は記入してください。

第二十六号様式(提出用)

「取得価額」欄について

- ① 「前年前に取得したもの(イ)」
 - ・令和6年1月1日現在の資産の取得価額の合計を種類別に記入してください。
 - ・印刷されている金額に修正がある場合は、傍線を引いて正しい金額を記入してください。
- ② 「前年中に減少したもの(ロ)」
 - ・令和6年1月2日～令和7年1月1日までに減少した資産の取得価額の合計を、種類別に記入してください。
- ③ 「前年中に取得したもの(ハ)」
 - ・令和6年1月2日～令和7年1月1日までに取得した資産の取得価額の合計を、種類別に記入してください。
- ④ 「計(ニ)」には、令和7年1月1日現在の資産の取得価額の合計を種類別に記入してください。
- ⑤ (ホ)～(ト)は、市で計算しますので、記入する必要はありません。ただし、自社の電算処理により全資産申告をされる方は記入してください。

※以前より事業を行っている方で「前年前に取得したもの(イ)」の欄が空欄である場合

令和6年度の申告において「該当資産なし」の申告をした方(償却資産課税台帳に資産の登録がない方)などは、「前年前に取得したもの(イ)」の欄が空欄になっています。申告し忘れていた資産がある場合は必ず申告してください。

② 償却資産種類別明細書（減少・修正資産用）（赤色）

- (1) 令和6年中に売却、滅失、または他へ移動した資産があった場合、該当資産の「資産の名称、数量、取得年月、耐用年数、取得価額」を朱線で消してください。
修正の場合は、正しく記入してください。
- (2) 「提出用①・②」を、償却資産申告書（償却資産課税台帳）に添えて提出してください。

燕 市 前年度の資産 令和6年1月1日現在

償却資産種類別明細書(減少・修正資産用) 耐用年数を変更する場合は、横線を引き、上段に記入してください。

A 行	種類	資産コード	資産の名称・規格・型式	数量	取得年月			耐用年数	取得価額 円	特例 非課税	減少の事由及び区分
					年	月	日				
1	1	10550019	コココトウ	1	3	54	04	20	400,000		1 売却 2 滅失 3 移動 4 その他
2	1	10620017	アスファルトコウジ	1	3	61	12	10	1,350,000		1 売却 2 滅失 3 移動 4 その他
3	1	10030015	フェンスコウジ	1	4	02	7	10	333,600		1 売却 2 滅失 3 移動 4 その他
4	2	10610013	ヘイメンケンサクハン	1	3	60	1	11	3,500,000		1 売却 2 滅失 3 移動 4 その他
5	2	10020011	110トンプレス	1	4	01	12	11	2,750,000		1 売却 2 滅失 3 移動 4 その他
6	2	10580010	ケンマキ	1	3	57	01	11	600,000		1 売却 2 滅失 3 移動 4 その他
7	5	10060018	台車	1	4	25	06	4	510,000		1 売却 2 滅失 3 移動 4 その他
8	6	10010016	転送電話機	1	4	21	01	10	100,000 124,000		1 売却 2 滅失 3 移動 4 その他

所有者名 株式会社 燕製作所

提出用①

〔種類〕 1. 構築物 2. 機械及び装置 3. 船舶 4. 車両及び運搬具 5. 工具、器具及び備品

〔取得年月(年号)〕 1. 明治 2. 大正 3. 昭和 4. 平成 5. 令和

〔特例非課税〕 1. 特例 2. 非課税

注) 1. 左記種類別明細書は電算処理による前年度資産の明細兼減少・修正資産用申告書です。
2. 左記前年度資産中に全部減少の資産がある場合は、当該資産の名称、規格、型式から取得価額までを朱線で消し、減少の事由及び区分欄の当該番号と、1. 全部を○で囲んでください。
3. 左記前年度資産中に一部減少の資産がある場合は、当該資産の減少分を差し引いた価額を記入し、減少の事由及び区分欄の当該番号と、2. 一部を○で囲んでください。

「減少の事由及び区分」は、必ず○で囲んでください。

減少の区分1「全部減少」の場合、朱線で「資産の名称・規格・型式」から「取得価額」までを消してください。

減少の区分2「一部減少」の場合、朱線で「数量」及び「取得価額」を消し、修正後の数量、取得価額を記入してください。

③ 種類別明細書（増加資産・全資産用）（緑色）

- (1) 「増加資産」もしくは「全資産用」のいずれかを○印で囲んでください。
初めて申告される場合は、「全資産用」を○印で囲んで、全資産を記入してください。
- (2) 令和6年中に新品取得、中古品取得及び移動により受け入れた資産があった場合には「所有者名、資産の種類、資産の名称等、数量、取得年月、取得価額、耐用年数、増加事由（該当番号に○）」の箇所を省略することなく記入してください。
- (3) 「提出用①・②」を、償却資産申告書（償却資産課税台帳）に添えて提出してください。

令和7年度

種類別明細書(増加資産・全資産用)

B 行 番号	所有者コード	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月			取得価額 (円)	耐用年数 (年)	備 註	所有者名	1枚のうち	
					年	月	日					増加事由	摘要
01		5	台車	1	4	6	4	232,780	4		株式会社 燕製作所	1	2
02		6	応接セット	1	6	11		310,000	8			3	4
03					4			0				1	2
04					4			0				1	2
05					5			0				3	4
06					4			0				1	2
07					4			0				3	4
08					5			0				1	2
20					4			0				1	2
			小計	2				542,780				3	4

減価償却資産の耐用年数等に関する省令別表第1から別表第6まで(別表第3及び第4を除く)に掲げる耐用年数を記入してください。

漢字、数字、ひらがな、カタカナ、アルファベット等を使用し、左詰めで記入してください。

1. 構築物
2. 機械及び装置
5. 車両及び運搬具
6. 工具、器具及び備品

1枚のうち1枚目というように、ページ数を付けてください。

注意 「取得年月」の年号の欄は、4. 平成、5. 令和のどちらかに○印を付けてください。
「増加事由」の欄は、1. 新品取得、2. 中古品取得、3. 移動による受入れ、4. その他のいずれかに○印を付けてください。